

## 学長予定者の選考経過

1. 国立大学法人琉球大学学長選考会議（以下、「選考会議」という。）は、平成30年11月29日、國吉幸男氏、西田睦氏、松下正之氏、山崎秀雄氏の4名の学長候補者から所信を聴取し、質疑を実施した。
2. 選考会議は、同年12月13日、4人の学長候補者からの所信の聴取及び質疑を踏まえ、また、学内意向調査の結果も参考にして、「国立大学法人琉球大学学長の選考等に関する規則」第3条に基づき、審議し投票した結果、西田睦氏を、国立大学法人琉球大学次期学長予定者に決定した。

### ○決定の理由

西田睦氏は、琉球大学が、世界の急速なグローバル化・ICT化の進行や日本の人口、特に若年層の長期に渡る人口減少などを正面から受け止め、社会と未来にとって、琉球大学の役割と重要性について明確なビジョンを持ち、確かな活動を展開し、その成果を社会・世界にしっかりと発信する必要があることを示している。

同氏は、これを実現するために、（1）「研究」を基礎とした「教育」を通じた人材育成による、大学の本質の堅持、（2）理事として現学長の諸施策に携わったことからの、継続・強化すべき点と見直し・修正すべき点を見極めることによる継続性と新規性のバランス、（3）大学構成員の多様な考え方や専門性を尊重した、熟議に基づく合意形成による教職共創、（4）前任校における部局長としての部局改組・統合等の組織運営経験の積極的活用、以上4つの大学運営の所信を示し、琉球大学のさらなる発展のための「琉大ブランド」の創出と確立及びその発展を支えるための体制整備について、適切なリーダーシップを持って、急激な現代社会の変化に対応できる大学運営を推進していくことを表明している。

選考会議は、上記の理念が、琉球大学の基本理念・目標に合致し、同氏が「国立大学法人琉球大学に求められる学長像」に照らして、これを実現するための強い意志を持ち、今後6年間の琉球大学を牽引できる人物であると判断し、同氏を次期学長予定者に決定した。

### (参考)

#### 意向調査の実施と結果

・実施日 平成30年12月12日

#### ・実施結果

國吉 幸男 候補 196票

西田 睦 候補 316票

松下 正之 候補 169票

山崎 秀雄 候補 66票

投票資格者数：889人

投票者数：760人（うち有効投票数747、無効投票数13）

平成30年12月13日

国立大学法人琉球大学学長選考会議

